

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほしのごキッズ			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	16(内1名、記入不足の為、対象外とする。)
○従業者評価実施期間	2025年11月20日 ～ 2025年11月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育内容のバリエーション	各職員の経験やアイデアを活かし、日々目標を明確に持ちながら多岐にわたる活動を実施しています。祝日や長期休暇機関中は戸外活動や調理活動などイベントを企画し、児童がわくわくするような体験を得られるよう療育時間を有効に活用しています。	日々行っている活動内容についてもチームとして振り返ったり立案する機会を設け、より多角的な視点から療育を行えるようにします。
2	職員と保護者との連携体制	通所時に聴き取りを行ったり、療育終了後に保護者の方へフィードバックする時間を確保、児童の支援に対して共通認識が持てるよう関わらせていただいております。時間が限られている方に関しては、HUGのメッセージ機能を活用するなどし、各ご家庭の事情に合わせた対応を心がけています。モニタリング時には、フィードバック内容や連携方法に関して、ご意見もうかがっています。	海外から日本へ移住し当事業所を利用されている方もおられる為、翻訳機能を活用するなどしながら、よりの確に意思疎通を図っていくことで保護者の悩みや困り感への対応を行っています。
3	就学に向けた支援の提供	小学校で体験し得ることをあらかじめ事業所で体験することによって、就学後の困りごとを予見したり事前に対策を立てることができています。また、就学支援シートの作成、姉妹教室との連携によって、小学校・放課後等サービスへのスムーズな移行を支援しています。	移行後の放デイと小学校との連携に当事業所も携わっていくことで情報の共有に努めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルの策定に関する周知	安全計画、感染症対策、虐待防止など各種マニュアルは策定していますが、保護者の方が存在を認識しておらず、周知が足りていないと考えられます。	契約時に実物のマニュアルを提示して、実際に見ることで存在を認知していただきます。さらに、訓練時はどのマニュアルや計画に基づいて実施していることを明記していきます。
2	保護者同士の交流・連携の充実	夏祭り、クリスマスコンサート、ドッジボール大会など保護者同士が交流できる場は設けさせていただいております。しかし、保護者同士の交流が主目的になっていない分、話しかけづらい方もいらっしゃるかと推察されます。	季節のイベントを開催する際は、保護者同士の交流機会として活用していただけることを丁寧に周知します。また、保護者同士の交流を主目的とした相談会を年に1、2回開催していますが、より多くの方が参加できるよう開催頻度や開催日について検討します。
3	関係機関との連携	保護者の要望や指導状況報告書の作成に応じて幼稚園・保育園へ訪問にうかがっている為、全ての園と連携できていません。また、未就学児に関して一部例外はあるものの、区が運営している療育施設と民間の療育施設が基本的に併用できない分、連携の頻度は減っていると考えられる。	事業所側からも園訪問について周知を行うなど、働きかけをより積極的に行います。